令和8年11月号　発行日：11月13日（金）

CASA新聞

発行　株式会社カーザミカワ
岡崎本社　☎0564-24-2511
岡崎市吹矢町88番地
豊田営業所　☎0565-28-3891
豊田市豊栄町6丁目1番地

個人情報漏洩の可能性　住宅省エネ2024事業で2万3918人

国土交通省、経済産業省、環境省は10月20日、2023～24年度に実施した補助事業「住宅省エネ2024キャンペーン」を利用した事業者の情報が漏洩した可能性があることを発表した。現時点の速報値で、1万6950事業者、2万3918人の個人情報（法人の代表者の氏名と肩書、個人事業主の氏名と住所、補助金担当者の氏名と部署、役職、業務で用いている住所、電話番号、メールアドレス）が漏洩した可能性があるとしている。

住宅省エネ2024キャンペーンは国土交通省の子育てエコホーム支援事業、環境省の先進的窓リノベ2024事業、経済産業省の給湯省エネ2024事業と賃貸集合給湯省エネ2024事業の総称。

情報漏洩の可能性は、補助事業の事務局である博報堂が、事業者からの補助金の申請を受け付けるために運営しているシステムに外部から不正操作があり、登録されている事業者の情報が漏洩した可能性があるとの報告を受けて判明した。

現時点で、補助事業を利用した消費者の個人情報の漏洩は確認されていない。また、現在実施中の住宅省エネ2026キャンペーンなど、ほかの年度に実施されている同種の補助事業に関する登録事業者情報の漏洩はないとされている。

被害拡大防止の観点から、現在すべてのシステム機能が停止されており、今後、システム機能の点検と再発防止策を講じた後に、官僚実績報告の受付等に必要なシステム機能に限り再開する予定だ。博報堂では、漏洩した原因や詳細な被害状況を調査するとともに、情報漏洩の可能性がある登録事業者へ個別に謝罪と注意喚起の連絡を行なっている。

国土交通省、経済産業省、環境省は、漏洩の可能性がある事業者の情報が、なりすましやフィッシング詐欺メール、ウイルス感染メールの送信等に悪用される可能性があるため、不審なメールを受信した場合は、添付ファイルを開いたり、本文中のURLリンクをクリックしたりせず、メールごと削除するよう呼び掛けている。

さらに、登録事業者および補助事業を利用した消費者向けの相談窓口を設置した。

▽住宅省エネ2024キャンペーン事務局＝電話0570・062・065、IP電話は050・3524・7232。

6カ月ぶり減少、金利上昇懸念

木造は増加、木造率66%に上昇　9月の新設住宅着工

9月の新設住宅着工戸数は6万1826戸（前年同月比2・7%減）で、3月以来6カ月ぶりの減少となった。国土交通省は、単月のみで減少傾向が続くとの判断はできないが、聞き取りでは8月の政策金利上昇を受けて消費者の住宅取得意欲が一段と低下したとの声があり、今後も注視していくとの認識を示した。総戸数は減少したが、木造は貸家が前年同月比5・8%増、分譲が同5・9%増に伸びたことで木造全体も2・3%増となり、総戸数に占める木造率は66・3%で前月比4・7ポイント上昇した。

利用関係別も持ち家が1万7648戸（同3・4%減）、貸家が2万8046戸（同1・6%減）、分譲が1万5688戸（同4・5%減）ですべて6カ月ぶりの減少となった。

分譲の減少はマンションが前年同月比21・2%減と5カ月ぶりの減少で大幅に落ち込んだためで、木造の多い分譲戸建ては同6・1%増で6カ月連続で増えている。これが、木造分譲の増加につながっているとみられる。

貸家も、減少の要因は公的資金による貸家が同29・1%減と先月の増加から再び減少に転じたためで、民間資金による貸家は同1・4%増で6カ月連続の増加となった。

木造全体は4万985戸（同2・3%増）で、工法別では在来が3万1131戸（同3・7%増）、木質プレハブが856戸（同13・8%減）、2×4が8998戸（同0・4%減）となった。

木造の堅調は在来がけん引する状況で、木質プレハブの落ち込みが目立つ。2×4は7月以降3カ月連続の減少となったが、9月は主軸の貸家が同0・5%増と上昇に転じたことで、ほぼ前年同月の水準となった。

2026年度上半期（4～9月）の総戸数は37万9029戸（前年同期比11・3%増）と伸びたが、過去10年で2番目に低い水準となった。

季節調整済年率換算値は71万4000戸（前月比5・2%減）で3カ月連続の減少。

国産材原木は大径良材に高値

製品の値上げは難航　名古屋地区

名古屋地区内では伐り旬に入ったこともあり、原木市場では桧・杉の尺上以上の大径良材の引き合いが強く、高値がついている。ただ、実需の弱さや若干の円高による先高観から、製品は国産材、外材ともに値上げが難航している。

国産材原木について大手市場は、大径良材の引き合いが強い半面並材が売りづらいと話し、価格上昇はない。

9月の集荷遅れは今後徐々に解消されると予想される。

国産材製品は、羽柄材はWウッドから杉の以降が進んでいるが、住宅用桧ムク構造材は代替材にはなっていない。大手市場浜問屋は、実需の伸び悩みが続くことによる今後の値下がりを危惧している。

欧州材製品のWウッド間柱は、杉間柱の供給量が減少しているなかでも、円高による先安観が広がって手当てが進まない。流通量が少ないWウッド集成管柱は、杉やRウッド集成管柱への移行が進む。

Rウッド集成平角は、堅調な販売や競合材の調達難化で顧客間の価格差が縮小している。

米材輸入製品は国内挽き大手の値上げなどで価格は強含み基調だが、価格を上げきれていない。

SPF2×4材は、供給側が新材について値上げ姿勢。米ツガや米松のクリア材は品薄が続く。

国産材針葉樹構造用合板は、夏場以降のプレカット工場の受注増加で期待されていた秋需は見られない。メーカーは10月からの値上げを打ち出し、価格の底上げを狙ったが、現状は強含みにとどまる。ただ、引き合いは堅調。

三河の市2026
性能UPなかがかなえる未来
理想に導くパフォーマンス
2026年10月1日（木）
▼
2026年12月25日（金）

表示説明	値下げ	横ばい	値上げ
市況状況	ラワン薄べニヤ	・	・	・
	ラワン構造用12㎜	・	・	・
	針葉樹12㎜3×6	・	・	・